

## M1 ACTIVE

### INSTALLATION MANUAL & USER'S GUIDE

*C.R. Baggs*

エルアールバッグス製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。M1 Active は大好評の M1 (パッシブ) に続いて発売されたマグネティックタイプで、パテント申請中の独自構造による新しいピックアップシステムです。M1 Active は専用のプリアンプを搭載しており、ライブやレコーディングなど、シチュエーションに左右されることなく安定したサウンドと M1 の持つポテンシャルを最大限に引き出すことが出来、そのままアンプや P.A. などに出力可能です。ライブやレコーディング時には外部出力をコントロールでき優れた D.I. でもある ParaAcousticD.I. との併用をお勧めします。

## 1. 概要と注意

M1 Active は独自開発の Tri Axial Dynamic Technology (※パテント申請中) による弦振動・ボディ振動両方の再生とデュアルコイル。デザインによるハム・キャンセル効果で、リッチでクリアかつ非常にナチュラルな音質を超低ノイズで再現することに成功しています。各弦独立のポールピースは弦の種類に合わせて高さ調整が可能になっており、ベストバランスを容易に設定することが出来ます。

M1 Active は直径 3.5 インチ (約 89mm) 以上のサウンドホールを持つギターに取り付けることが出来ます。ギターに加工をする前に M1 Active が取り付けられるかどうか確認して下さい。取付は非常にシンプルですが、木部加工(ストラップジャック用の穴あけなど)はプロのリペアマン、または専門店などに任せたほうが良いでしょう。

## 2. 取り付け

### 2.1 取り付け概要

取り付け方は、付属のストラップジャック・アセンブリ(エンドピン)を使用する半永久的な取り付け(図-1)と、別売のギター・ケーブル (以下 "ギターケーブル" と表示) を使用する簡易取り付けが出来ます。ストラップジャック・アセンブリを使用する場合、エンドピン(またはその周辺)に穴あけ加工が必要になります (下記セクション 2.2 をお読み下さい)。ギターケーブルを使用する場合にはサウンドホールからケーブルを出し外部機器に直接接続することが出来ます。この場合、ギターへの加工が一切不要になります (裏面のセクション 2.3 をお読み下さい)。

### 2.2 ストラップジャック・アセンブリの取り付け

半永久的な取り付けをする場合、ストラップジャック用の穴あけを行う前にサウンドホールに取り付けられるかどうか確認してください。M1 Active は、3.5 インチ (約 89mm) 以下のサウンドホールを持つギターには取り付けられません。また、ギターによってはサウンドホールの位置がずれていて、取り付けた際に各弦が M1 Active のポールピースの真上に来ないことがあります。このようなギターの場合、まずは簡易取付で音量バランスなどを確認してください。

#### 2.2.1

ストラップジャックの取り付けには、ギターの底部に 1/2 インチ (約 12.5±0.2mm) の穴を開ける必要があります。エンドピンのないギター、またはあっても小さい場合には、塗装欠けを防ぐためまず穴を開ける箇所の周りにマスキングテープを貼り、小さなガイド穴を開け、ステップドリル等でその穴を拡げていきます。

#### 2.2.2

まず、ストラップボタン、ナット (小)、ワッシャー (小) をジャックから外します。この時点ではスターワッシャー、フラット・ワッシャー、ナット (大) がストラップジャックに付いているはずです。そのままサウンドホールからストラップジャックを入れボディ底部にあけた穴に通します。

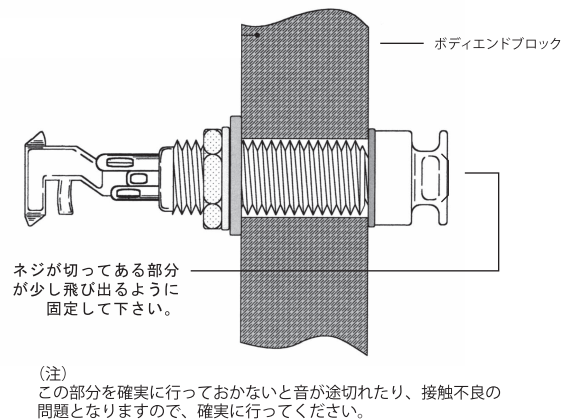
#### 2.2.3

次に、(図 -1) を参考に、ネジが切ってある部分が少し顔を出すように内部のナットを使って調整します。

#### 2.2.4

次に、この状態のまま、最初に外したワッシャー (小) を間に入れてナット (小) を適度に締め込み、さらにストラップ・ボタンを取り付けます。ナット (小) を締め込む際、力を入れすぎると塗装にヒビが入る恐れがありますのでご注意ください。

### ストラップジャック・アセンブリ取付の注意



(図 -1)

### 2.3 ピックアップの取り付け

ストラップジャック、またはギターケーブルをピックアップ側のジャックに差し込みます。ピックアップの上部両側にあるネジを緩めてサウンドホールにはめ込みネジを締めます(入れ込むポイントとして、少し広めにネジを緩め、斜めから挟み込むようにすると容易に取付が出来ます)。小さなサウンドホールの場合はクランプを完全に外してから取り付けます。その際にクランプを本体サイドのスロットにきちんとはまる様にしてください。

ギター本体へのダメージを避けたい方は M1 のクランプ部にフェルト生地などを付けることをお勧めしますが、基本的にボディとピックアップのバランスを向上させるため、意図的にパッド(フェルト生地など)は付けていません。パッドを付けるとギターの表甲が作り出す深みやウォームさ、ピックアップのレスポンスを損なうことになってしまいますが、トップやボディからのサウンドを抑えたい場合はフェルト生地などを挟み調整してください。

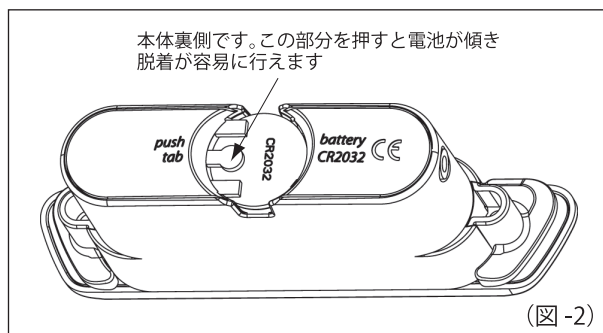
ストラップジャックの場合は、内部配線用のワイヤーを付属のワイヤー・クリップで表甲に触れないようボディサイドに固定して下さい。

- (注) 別売のギターケーブルを使用しサウンドホールから出力する場合、ボディ表面に固定して下さい。固定しないとケーブルがボディに当たった音も拾ってしまいます。
- (注) M1 Active を別売のギターケーブルで使用する場合、ピックアップにケーブルを指した時点でピックアップの電源が入ります。使用しない時は必ずピックアップからケーブルを外して下さい。ストラップジャック・アセンブリを使用した場合はジャックにケーブルを指した時にピックアップに原電が入ります。

### 2.4 バッテリー交換

M1 Active は 3V リチウムバッテリー (CR2032) で連続 1000 時間の使用が可能です。電池の交換の際には本体裏面の「Push Tab」と書かれている部分をピックアップ側に押すことによって電池が外れます(斜めに傾きます(図-2))。取付は外した時と逆工程を行ってください。

- (注) 3V リチウムバッテリー (CR2032) はコンビニ、電気店、コンピューターショップなどで容易に入手することが可能です。1000 時間ものロングライフですが、絶えず予備を携帯することをお勧めします。



## 3. ユーザーガイド

### 3.1 パッケージ内容

ピックアップ本体、内部配線用ケーブル、ワイヤークリップ(2 個)に加え 3/32 インチ'約 2.38mmのポールピースの高さ調節用の六角レンチとスピアのポールピース(2 種 3 個)が付属します。

### 3.2 アンプ等への影響

M1 Active はどのような機器に接続してもベストな結果が得られますが、ライブやレコーディングなどのシビアな環境では、外部への出力をコントロールでき優れた D.I. でもある ParaAcousticD.I. の併用をお勧めします。より安定したサウンドと M1 Active の持つポテンシャルを最大限に引き出すことが出来ます。

### 3.3 ポールピースの高さ調整

M1 Active のポールピースはブロンズ弦に合わせてありますが、お好みにより付属の六角レンチで高さを調整することが出来ます。ポールピースを弦に近づければ出力が上がり、遠ざければ出力は下がります。パワフルでハッキリとしたトーンを得るには出来る限り近づけたほうが良いでしょう。逆にポールピースを下げることによってエアー感を強調することが出来ます。

- (注) ニッケル弦などのエレキ弦の B 弦(2 弦)と E 弦(1 弦)用に 3/4 インチのポールピースが 2 個

アコースティック弦の 3 弦(ブレーン弦)用に 3/8 インチのポールピースが 1 個 同梱されています。

- (注) 調整レンジを越えてポールピースを下げていくと一定の場所で抵抗がかかります。それ以上はポールピースを下げて下さい。ピックアップを破損する恐れがあります。